

**学生限定
参加無料!!**

モノづくりDNAを未来へ、世界へ。

JIMTOF 2014

第27回 日本国際工作機械見本市

工作機械トップセミナー

ようこそ夢のある工作機械の世界へ

産学連携特別企画

開催日時 2014年11月2日(日)

トップセミナー 13:00~16:40

懇親パーティー 17:00~19:00

会場 東京ビッグサイト(JIMTOF2014会場)

トップセミナー 会議棟7階 国際会議場

懇親パーティー 会議棟1階 レセプションホール

参加資格 大学院、大学、高等専門学校、
工業高等学校等の学生

主催 (一社)日本工作機械工業会

共催 (一社)日本機械学会 生産加工・工作機械部門

<http://www.jmtba.or.jp/>

モノづくりDNAを未来へ、世界へ。

JIMTOF 2014

第27回 日本国際工作機械見本市

産学連携特別企画

工作機械トップセミナー

ようこそ夢のある工作機械の世界へ

開催のご案内

様々な工業製品を世界中に輸出している日本の製造業は、今後の日本の発展に最も重要な産業であることは皆さんも良くご存知のことと思います。

その製造業の中でも特に重要な役割を担っているのが「工作機械産業」であることはご存知でしょうか？

日本製の工作機械は世界トップレベルの技術を誇ることから、世界中の最先端の製造現場になくはならない存在となっています。

世界の製造業をリードしている日本の工作機械は、研究開発に真摯に取り組む優秀なエンジニアの夢と情熱を原動力に発展を遂げてきました。「人財」こそ、日本の競争力の源泉であります。

日本の工作機械産業は世界の製造業とともに発展していきます。世界の製造業を支える工作機械の未来は夢と情熱にあふれる若い力が切り拓いていきます。

来る2014年10月30日～11月4日の6日間、世界中から最先端の工作機械が集結する「JIMTOF・Tokyo 2014（日本国際工作機械見本市）」が東京ビッグサイトで開催されます。

JIMTOFは私達ものづくりに携わる者にとって、機械、電気、ITの最新技術を体感し、感動できるテーマパークとも言えます。

学生の皆さんにも同じ感動を味わって頂けるよう、業界一丸となって皆様をお迎えいたします。

日本工作機械工業会は、このショーに併せて11月2日(日)、学生の皆さんに工作機械産業の重要性や素晴らしさを知って頂こうと、「工作機械トップセミナー」を開催することと致しました。

本セミナーでは、工作機械メーカーの経営者、最先端医療機器の生産現場で活躍するエンジニア、世界中の建設現場で活躍する建設機械メーカーの技術者を講師に迎え、「ものづくり」と工作機械について、幅広い視点から解り易くご紹介致します。

その他、大学の研究者と工作機械メーカーの若手エンジニアによるパネルディスカッションも予定しております。

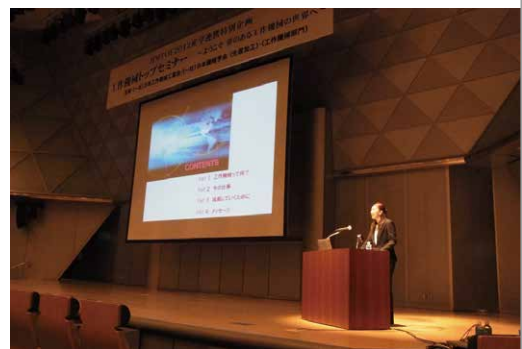
JIMTOF、並びに本セミナーは工作機械の魅力を感じとって頂けるまたとない機会であります。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。



一般社団法人
日本工作機械工業会
会長 花木 義麿

セミナープログラム

| 時間 | 内容 |
|-------------|---|
| 13:00～13:10 | 開会挨拶：(一社)日本工作機械工業会 会長 花木 義麿 氏 |
| 13:10～13:55 | 講演①：工作機械メーカー経営者からの学生へのメッセージ 講 師：安田工業(株) 取締役社長 安田 拓人 氏 |
| 13:55～14:40 | 講演②：オリンパスの医療製品を支える金属加工技術 講 師：オリンパスメディカルシステムズ(株) 製造本部 製造企画部 技術企画グループ グループリーダー 上條 晴夫 氏 |
| 14:40～14:55 | 休憩 |
| 14:55～15:40 | 講演③：世界を切り開く建設機械の最新技術と将来展望 講 師：日立建機(株) 制御システムセンタ 部長 枝村 学 氏 |
| 15:40～16:40 | パネルディスカッション：工作機械産業の魅力とエンジニアとしての取り組み姿勢の在り方 司 会：MAMTEC代表/上智大学名誉教授 清水 伸二 氏 |
| 17:00～19:00 | 懇親パーティー ※工作機械の研究に携わる大学の研究者、第一線で活躍している工作機械メーカー技術者も交えての懇親パーティーを開催します。会場内には当会会員企業がPRコーナーを設ける予定です。 |



JIMTOF(日本国際工作機械見本市)とは

JIMTOFは、1962年に第1回が開催された、我が国で最も伝統がある工作機械とその関連製品の専門見本市であり、世界的にも有数の規模、知名度を誇ります。2年に1度、西暦偶数年の秋に東京で開催しています。

JIMTOFに対する業界内の関心は大変高く、毎回、国内最大の展示場である東京ビッグサイトをもってしても収容しきれないほど、国内外から多くの出展申込が寄せられています。

JIMTOFに合せて製品開発サイクルを組む出展企業も多く、技術本位の展示会として、その出展水準の高さは世界的にも高く評価されています。各社の最新機を一同に比較できることから来場者の注目も高く、近年の開催では、好不況に関わらず一定して10万人以上が訪れており、JIMTOF2012には128,674人が足を運びました。

JIMTOF2014は右記の概要にて実施することとしております。

さらに詳しい情報は公式Webサイト<http://www.jimtof.org/>をご覧ください。



【JIMTOF2014 開催概要】

- 名 称：JIMTOF2014(第26回日本国際工作機械見本市)
- 会 期：2014年10月30日(木)～11月4日(火)
- 開場時間：9:00～17:00
- 会 場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)常設ホール全館
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 主 催：(一社)日本工作機械工業会/ (株)東京ビッグサイト
- 後 援：外務省/ 経済産業省/ NHK(予定)
- 協 賛：日本工作機械輸入協会/ 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会/
日本精密機械工業会/ 日本工具工業会/ 超硬工具協会/
一般社団法人 日本工作機器工業会/ 日本精密測定機器工業会/
研削砥石工業会/ ダイヤモンド工業協会/ 日本光学測定機工業会/
一般社団法人 日本フルードパワー工業会/ 日本試験機工業会/
一般社団法人 日本歯車工業会(以上14団体)
- 出展規模：約5,000小間(約45,000m²)
- 展示場面積：82,660m²
- 出展社数：725社(直接出展者及び8月22日現在登録があった間接出展者)
- 来場者数：120,000人(見込み)
- 出 展 物：下記製品の新品
工作機械/ 鍛圧機械/ 工作機器/ 特殊鋼工具/
超硬工具/ ダイヤモンド・CBN工具/ 研削砥石/
歯車・歯車装置/ 油圧・空気圧・水圧機器/
精密測定機器/ 光学測定機器/ 試験機器/
制御装置および関連ソフトウェア(CAD、CAM等)/
その他工作機械に関する環境対応機器装置・機器・資材・製品・
技術及び情報

講演アブストラクト

講演

1

工作機械メーカー経営者からの学生へのメッセージ



安田工業株式会社
取締役社長

安田 拓人

1991年 日本大学 生産工学部機械工学科 卒業
1994年 安田工業(株) 入社
1996年 同社 取締役
2009年 同社 代表取締役社長

私たちの暮らしは、さまざまな工業製品によって支えられて成り立っています。そして、ほぼ全ての工業製品には、それらが作られていく過程において、何らかの形で工作機械が関わっているのです。

近頃では、世界的な人口の増加や、なかでも中間所得層の増加によって、工業製品に対する需要がますます高まっています。同時に工作機械への需要や期待も高まっています。

実は、工作機械の分野において日本は重要な地位を占め続けていて、規模にはこだわらず独自の技術を持った企業群が

その地位を支えてきました。また、これらの企業は、各分野の先端産業とダイレクトにつながっていて、そこで働くエンジニアには、幅広い分野の技術や知識を応用していくことが求められています。

ここでは、この拡大基調にある工作機械業界を取り巻く状況や、工作機械メーカーで働くことの醍醐味などを、中小と呼ばれる企業規模の経営者の立場からご紹介いたします。

講演

2

オリンパスの医療製品を支える金属加工技術



オリンパスメディカルシステムズ株式会社
製造本部 製造企画部
技術企画グループ グループリーダー

上條 晴夫

1982年 オリンパス光学工業株式会社入社 生産技術部
2001年 オリンパス株式会社 医療事業製造管理部
2004年 青森オリンパス株式会社 製造技術グループ
2012年 オリンパスメディカルシステムズ株式会社 製造企画部

弊社の医療製品の機能部品の特徴として、小形、高精度、複雑形状が挙げられ、材料は耐性に強いSUSが主力である。しかし近年、市場からの要求により、これら部品はより小形、高精度化が進み、また、Ti合金の様な軽量、高耐性の材料が増えてきている。

これら部品を支えている金属加工技術は多岐に亘るが、特に切削加工技術及び切削加工機は、これらの部品を実現するための重要な位置付けとなっている。

機能部品の加工には、高精度も勿論であるが、多品種少量生産を効率良く加工できる技術が必要となる。残念ながら、

市販されている加工機では不十分なため、弊社は市販機をカスタマイズまたは、内製化した加工機を導入している。

但し、ベースとなっているのは、日本のものづくりの結集である加工機や、長年培われた技術であり、この進歩が我々医療の高度化に貢献しているのは確かである。

これから多様化する製品に併せ、工作機械はまだまだ進歩する可能性があり、若い世代のチャレンジ精神と豊富なアイデアに期待する。

講演

3

世界を切り開く建設機械の最新技術と将来展望



日立建機株式会社
制御システムセンタ 部長

枝村 学

1990年 (株)日立製作所 機械研究所 半導体製造装置の研究開発に従事
2003年 (株)日立製作所 中央研究所 半導体製造装置の研究開発に従事
2005年 日立建機ファインテック(株) 原子間力顕微鏡の開発設計に従事
2008年 日立建機(株) 省エネルギー建設機械、情報化建設機械等の開発設計に従事

建設機械の歴史は古く、その発祥は、紀元前3500年のメソポタミア文明における大規模灌漑工事まで遡る。近代では、18世紀における蒸気機関の発明によって移動式建設機械の原形が生まれ、その後、内燃機関や油圧技術の適用により、油圧ショベル、ダンプトラック、ブルドーザといった現在の建設機械へと進化した。

近年、電子制御技術、情報通信技術、測位技術の進展により、建設機械製品は新たな進化のステージを迎えている。世界中どこにいても、衛星測位システムと高精度姿勢セン

サを組み合わせ、地球の座標に対して、cmオーダの誤差で掘削刃先を位置決めしたり、機械及び機械周辺の情報をリアルタイムに高速通信をしたりすることが可能となった。工作機械が手作業の旋盤やボール盤から万能NC加工機に進化したように、建設機械製品も大きくその姿を変える可能性がある。

本講演では、建設機械の歴史、最新の開発状況と、建設機械製品の将来展望について概説する。

パネルディスカッション

工作機械産業の魅力とエンジニアとしての取り組み姿勢の在り方



司会

MAMTEC代表/
上智大学名誉教授

清水 伸二

1973年 上智大学大学院理工学研究科機械工学専攻修士課程修了
同年 (株)大隈鐵工所(現 オークマ(株))入社 研削盤の設計部門に勤務
1981年 上智大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士課程修了
同年 上智大学助手
1982年 同 学 講師
1984年 同 学 助教授
1989年 マンチェスター工科大学客員研究員
1994年 上智大学教授
1999年 ノースカロライナ大学シャーロット校客員教授
2014年 MAMTEC代表、上智大学名誉教授

パネリスト

工作機械メーカーの若手エンジニア(4社4名を予定)

皆さんは、「工作機械をつくる」という仕事がどのようなものかご存じでしょうか？

工作機械のユーザは様々な業種の製造業です。どのユーザも、より良い製品を製造するために、工作機械メーカーに様々な要求をぶつけてきます。

こうしたユーザの要求に応える、優れた工作機械を生み出すために、多くの優秀なエンジニアが取り組んでいる仕事とはど

のようなものか、皆さんの先輩にあたる工作機械メーカーの若手エンジニアの方々から、詳しくご紹介いただけます。

また、日々の仕事に取り組む中で、工作機械エンジニアが感じる工作機械の魅力、仕事のやりがいやエンジニアに求められる心構えなどについても率直に語っていただけます。

エンジニアを目指す皆さんに参考にしていただける内容が詰まった、パネルディスカッションとなっています。

会場案内図



会場までの交通機関

【りんかい線 国際展示場駅下車徒歩約7分】

大崎駅(JR)→13分→国際展示場駅→5分→新木場駅(JR、東京メトロ)
 ※大崎から新宿・大宮方面へJR埼京線相互直通運転

【ゆりかもめ[新交通] 国際展示場正門駅下車徒歩約3分】

○新橋駅(JR、東京メトロ・都営地下鉄)→22分→国際展示場正門駅
 ○豊洲駅(JR、東京メトロ)→8分→国際展示場正門駅

【都営バス】

○東16系統(豊洲駅前経由)：東京駅八重洲口→約35分→東京ビッグサイト→約5分→東京テレポート
 ○海01系統(豊洲駅前経由)：門仲仲町→約30分→東京ビッグサイト
 ○丸01系統：浜松町駅→約30分→東京ビッグサイト

【水上バス】

日の出桟橋(JR浜松町駅から徒歩約7分)→20分→有明客船ターミナル(下船徒歩約2分)

【空港バス(リムジンバス・京浜急行バス)】

○羽田空港→約25分→東京ビッグサイト
 ○成田空港→約60分→東京ビッグサイト
 ○東京シティエアーターミナル(TCAT)→約20分→東京ビッグサイト
 ※イベント開催時のみ運行の便もありますので、ご確認ください。

【その他直行バス(京浜急行バス)】

○横浜駅東口→約50分→東京ビッグサイト

申込方法：添付の参加申込書にご記入の上、FAX又はE-mailにてお申し込み下さい。
 なお、定員になり次第申込みは締切らせていただきます。

工作機械トップセミナー 参加申込書

■ 申込み及び問合せ先

(一社)日本工作機械工業会 丑久保(うしくぼ)、笹川

申込日：2014年 月 日

TEL: 03-3434-3961 FAX: 03-3434-3763 E-mail: topseminar@jmtba.or.jp

参加者氏名： _____

学 校 名： _____

学 年： _____

連絡先(電話) _____

(E-Mail) _____

懇親会： 参加する

参加しない

(※未成年者の飲酒はご遠慮下さい)